



自治振興会の紹介

草木自治振興会



草木区民大運動会



盆踊り大会

草木自治振興会は合併に伴い組織の再編をし、草木健美会と自治振興会を統合して平成十六年十二月に発足しました。草木健美会は、平成十四年四月に草木小学校が休校となり、地域活動の核となる組織を設ける為に設立しました。草木自治振興会では、地域住民の創意と工夫、連帯により親睦とふれあいを深め地域の発展と明るく住み良い地域づくりを進めることを目的としています。

地域づくり研究会が三年前に地域活動について検討した結果、以前集落で取り組んでいた「福柳川マ釣り大会」を地域全体での活動とし、今年の春から復活させました。マ釣り大会は都市と農村の交流の場、老若男女が積極的に参加するふれあいの機会となりました。夏は「盆踊り大会」、秋は地域住民参加の「運動会」。地域の美化活動も活発になりました。これらを発展させることにより「連携と親睦・ふれあい」のあるものにし、神石高原町草木に住んで良かったと思われ地域づくりに取り組んでいます。

(会長 岡崎 武志)



福柳川マ釣り大会

父木野自治振興会



銭太鼓 (やずぎ節)



地区民納涼大会

三和地区の南に位置する父木野自治振興会は、四つの班から成り、戸数六六戸、人口二六二人の比較的小規模な自治振興会です。それまでの振興会の組織との違いに困惑しながら、本部役員その他に四つの専門部と班会を組織しました。また、老人会、女性部、消防団、育成会などの各種団体や保健委員も加わっています。今年度の活動は自治振興会の中

に、七年目を迎えた父木野地区社会福祉協議会(福祉会)の活動を取り込んだ形で進めています。主な活動としては、美化活動・視察研修会・納涼大会・スポーツ大会・クリスマス会・とんなどです。特に納涼大会での、大正琴・銭太鼓・花笠踊りの披露は、日頃の練習成果が発表でき、観客の皆さんから大好評でした。また、高齢化が進みお年寄りだけの世帯が増える中、年間を通しての声かけ運動を実施しています。発足以来、専門部の活動が低迷している事や、福祉会の色が濃い事が挙げられ、より充実した自治振興会にするため、役員会では来年度に向け、役員の方も含め検討しています。

(会長 森田 丈志)



健康相談会